

「きょうとプレコン」について



京都府におけるプレコンセプションケア推進の方向性

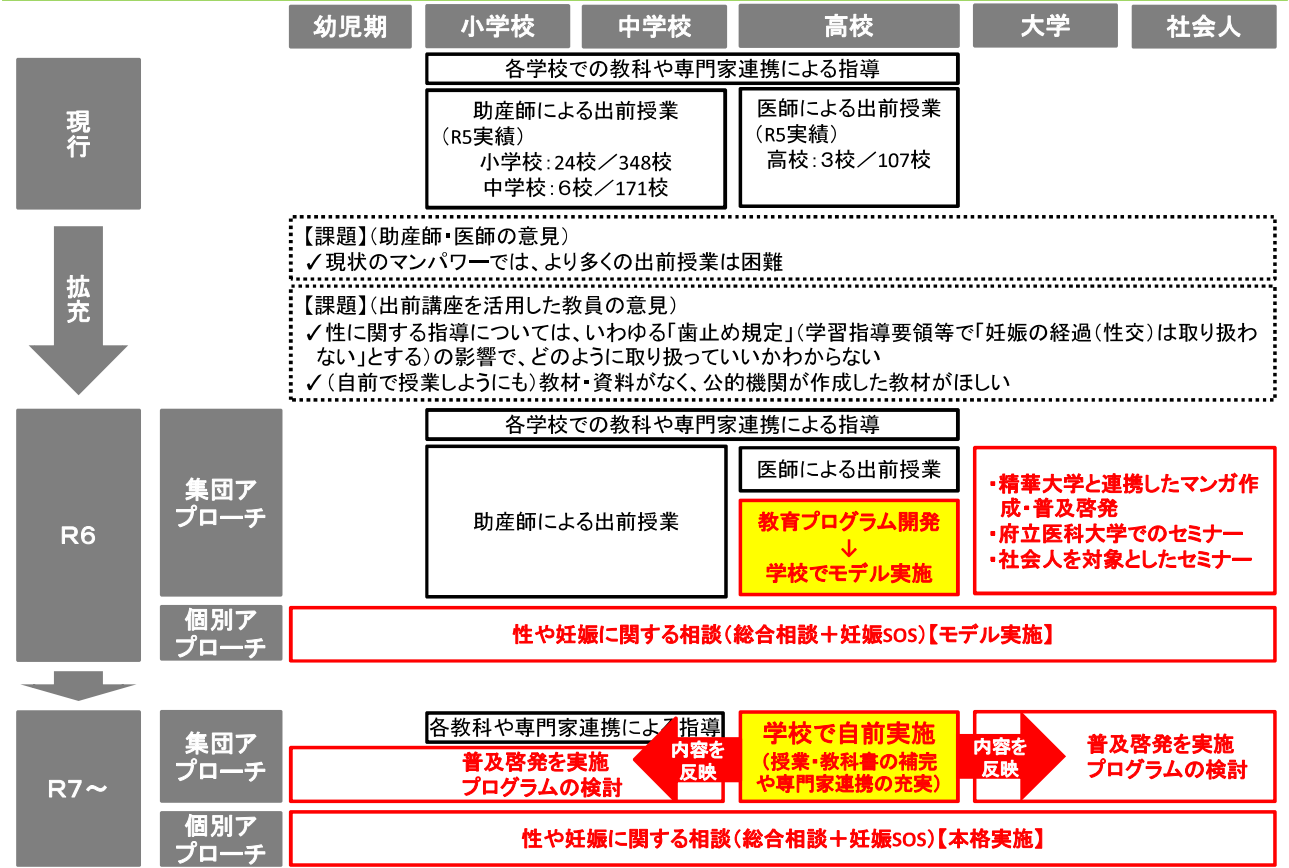
プレコンセプションケア推進に当たっての視点

- 視点① 妊娠率と年齢との関係、避妊方法といった科学的知識を身に付ける機会を提供する
- 視点② 若年期からそうした知識を知った上で、自身のライフデザインを考える機会を提供する
- 視点③ 婦人科・泌尿器科の受診への心理的ハードルを下げる
- 視点④ 一人一人が自分の性や妊娠のあり方を決定できる権利を持ち、そうした権利を他人が侵害してはならない、というSRHR（性と生殖に関する健康と権利）の考え方を普及する
（性や妊娠に関する問題については、自分だけで完結するものではなく、他者との人間関係の中で生じるもの）

方向性（打ち出したいメッセージ）

- ・ **いつ妊娠して、何人子どもを産むかといったことは、一人一人が自分の意志で自由に決定できる**
- ・ 友人、恋人、結婚といった様々な関係の中で、**そうした一人一人の考えを尊重して、良好な人間関係を構築**することが大事である
- ・ その上で、**それぞれの主体的な選択により、子どもを産み、育てたいと望む場合には、妊娠に向けた健康管理など、科学的な知識を持って日常生活を送ることが望ましい**
- ・ これは、（産めよ殖やせよといった）特定の価値観の押し付けではなく、府民ひとりひとりが権利の主体として、性や妊娠に関して、科学的知識に基づき、他人の生き方を尊重し、自分が望む生き方（ウェルビーイング）を実現できるようにするもの

京都府におけるプレコンセプションケア推進の全体像



令和6年度の新たな取組（集団アプローチ）

◆高校生への啓発

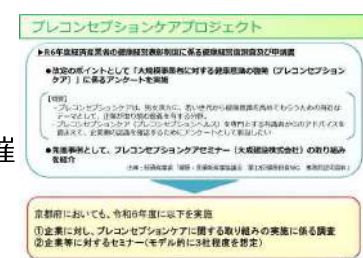
- ・高校生教育プログラムの開発、モデル実施

◆大学生への啓発

- ・京都府立医科大学学生向けセミナーを開催
（令和7年2月17日（月）学生・職員等参加者数約100名）
 - ・京都精華大学マンガ学部学生向け授業を実施
（令和6年10月 啓発マンガ作成のための授業の一環）
 - ・京都府の1 DAY仕事体験（人事課主催）において大学生向けに事業説明及び啓発を実施
- ※コンソーシアム京都、同志社、立命館、龍谷、佛教大学等の保健管理センターに事業説明

◆企業への啓発

- ・府内企業におけるニーズ把握のための調査を実施（209社回答）
 - ・府内企業（人事労務担当者）向けオンラインセミナーを開催（令和7年2月18日（火）及び3月19日（水））
 - ・京都府医師会産業保健委員会（検診機関、大学、府内医療機関の医師・保健師等）にて事業説明（令和6年8月）
- ※協会けんぽ京都支部、京都産業保健総合支援センター、健康対策課（きょうと健康づくり実践企業）、京都労働局等に事業説明済み



令和7年度の新たな取組（集団アプローチ）

京都府におけるプレコンセプションケアを効果的に普及啓発するため、「キャッチコピー」と「キャラクター」を設定します。

キャッチコピー

きょうとプレコン
選択できる未来を増やそう

キャラクター

京都府広報監まゆまろが
「きょうとプレコン」の広告塔になります！



令和7年度の新たな取組（集団アプローチ）

◆全世代への啓発

- ・「きょうとプレコン」の啓発チラシ、リーフレットを作成
- ・「きょうとプレコン」ホームページを開設
- ・京都精華大マンガ学部学生によるマンガ、チラシ、リーフレットの作成
- ・イオンモール久御山でプレコン啓発イベントを開催予定（令和7年6月29日（日））



令和7年度の新たな取組（集団アプローチ）

◆幼児期向けの啓発

- ・母子手帳発行時、乳幼児健診時、新生児訪問等子育て家庭への訪問時に、リーフレット等を配布
- ・保育所、こども園、幼稚園等、集団の場で活用できる資料作成を検討



◆小学生・中学生向けの啓発

- ・府内小中学校向けに実施している、「助産師が行く！いのちの出前講座」を継続実施
- ・平成28年度に開始し、令和6年度で9年目
公益社団法人京都府助産師会に委託し、助産師が各学校にて授業を実施
- ・毎年、約30校で実施しているが、希望する小中学校は30校を超えており、全ての希望校には出向けていない状況
- ・京都市各区役所・支所の子どもはぐみ室にも出前講座の依頼がある状況
- ・他校の教員の見学を可能としており、毎回10名前後の教員が見学
- ・令和7年度は、看護学生の見学等を試行的に実施予定



令和7年度の新たな取組（集団アプローチ）

◆大学生向けの啓発

- ・大学生を対象としたプレコンセプションセミナーを開催予定
（公募にて募集。年3回程度、延べ500名参加希望を予定）
- ・同志社大学京田辺キャンパス、京都文教大学にて、たばこ及びHIV啓発と一緒にプレコン啓発イベントを実施予定（令和7年5月、12月）
（山城北保健所と共催）



◆社会人向けの啓発

- ・若手社員を対象としたプレコンセプションセミナーの開催
（3回程度、延べ500名参加規模）
- ・企業において、社内セミナーで活用できる研修プログラム
（ショート動画等）の作成



令和6年度の新たな取組（個別アプローチ）

◆きょうと妊娠SOS・性の相談LINE

性や妊娠に関する総合相談、予期せぬ妊娠の相談などに対応したSNS相談窓口をモデル実施

（実施主体）京都府助産師会に委託

（実施期間）令和6年7月22日～令和7年1月11日

（受付時間）24時間毎日受付

（対応時間）月・水 16:00～19:00
土 13:00～16:00



令和7年度の新たな取組（個別アプローチ）

妊娠・出産・子育て総合相談体制整備事業

R7当初予算案 京都府:1千万円、京都市:1千万円

- ・ **SNSの活用や相談時間の拡充**により、若年者も気軽に相談できる窓口へ
- ・ **多職種連携**により、幅広い悩みの相談に対応
- ・ **京都府・京都市の4つの相談窓口を統合**し、オールインワンサポート

